

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	澤田正春・澤頭修自 写真展開催事業
事業主体 (連絡先)	木曾地域文化芸術資源活用実行委員会
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,837,570 円 (うち支援金: 1,470,000 円)

### 事業内容

60年代木曾路ブームの火付け役澤田正春氏の王滝村に所蔵されている写真と、木祖村在住の元教諭であり木祖村史編纂室長を歴任した澤頭修自氏の写真を郡内4か所、県外2か所で展示した。

オープニングイベントとして10月14日に木曾町の御料館において澤頭氏による「あの頃の木曾町を振り返り」をテーマにトークショーを行った。

また、10月22日には木曾路美術館においてプロの写真家である池田昌広氏によるワークショップ「写真を観る」を開催し、講評をメインに写真を観るといふことについて考えた。



(活動写真)

### 【講演会の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①県内外における認知度の向上
- ②地域の文化財の活用
- ③地域の文化財を保存し後世に伝える
- ④官と民の連携

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①郡内および郡外での展開により、より多くの人に向けてアピールすることができた。(来場者 2,500 人)
- ②①での展開により、地域に眠る文化資源を活用することができた。
- ③古いフィルムをデータ化して新たにプリントし、額装することで今後も活用し易い形にすることができた。
- ④官民を問わない文化施設との連携により、相互協力のもと、事業を展開させることができた。

### ※自己評価 【A】

#### 【理由】

目標を上回る動員数を達成することができ、地域に眠る文化資源の魅力を発信することができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域住民に大変好評だったが、郡内4町村で行われたので、今後は郡内全域に広げて活動していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある